

**製品名: SCYL1BP1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17673**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	45kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GORAB
別名	GORAB; NTKLBP1; SCYL1BP1; RAB6-interacting golgin; N-terminal kinase-like-binding protein 1; NTKL-BP1; NTKL-binding protein 1; hNTKL-BP1; SCY1-like 1-binding protein 1; SCYL1-BP1; SCYL1-binding protein 1
遺伝子 ID	92344.0
SwissProt ID	Q5T7V8
免疫原	抗血清はヒト GORAB の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

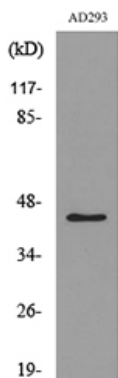
## 背景

ゴルギン、RAB6 相互作用(GORAB) Homo sapiens この遺伝子は、ゴルジ体に局在するコイルドコイルタンパク質のグループであるゴルギンファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、分泌経路で機能する可能性があります。コードされているタンパク質は細胞質にも局在し、N末端キナーゼ様タンパク質との相互作用により特定されたため、有糸分裂で機能する可能性があります。この遺伝子の変異は、老皮症骨異形成症と関連付けられています。選択的スプライシング転写バリエーションが記載されています。[RefSeq 提供、2009年3月]、注意: Met-1 と Met-26 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。疾患: GORAB の欠陥は、老皮症骨異形成症 (GO) の原因です[MIM: 231070]。老年性骨異形成症 (GO) は、まれな常染色体劣性遺伝性疾患で、たるんだしわのある皮膚、関節の弛緩、そして若くして老けたような外観を伴う典型的な顔貌を特徴とします。骨格所見には、頻繁な骨折につながる重度の骨粗鬆症、頬骨および下顎骨の形成不全、そして様々な程度の成長遅延が含まれます。類似性: GORAB ファミリーに属します。サブユニット: SCYL1 と相互作用します (類似性による)。RCHY1 および RAB6A/RAB6 と相互作用します。、

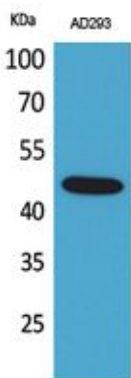
## 研究分野

シグナル伝達、タンパク質輸送、小胞輸送、コートタンパク質、神経科学、神経プロセス、神経変性疾患、エピジェネティクスと核シグナル伝達、転写、その他の因子、クロマチン結合タンパク質、DNA / RNA 結合

## 画像データ



GORAB 抗体を使用した AD293 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



SCYL1BP1 ポリクローナル抗体を用いた AD293 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。